

# 今後の子育て 支援対策は



**問**

出生率低下になかなか歯止めがかからず、日本の将来に不安を抱く住民も多い。

第4期幕別町総合計画の中でも「…家族や地域社会の低下が危惧される…」とあるように出生数の減少傾向と共に育児に対する環境づくり対策に率先して取り組んでいるところだが、思

うように効果が上がっていないことに難しい事情がうかがえる。

一段上の効果を望む声が多い中、今後の子育て支援等の対策をどのように考え、わがまちの活気に繋げていくのか、町の見解を伺う。

**町長**

核家族化の進展や近隣住民との交流が希薄化し、子育てに対する不安や



(すきやき隊の活動の様子)

負担を感じている方が増加している。対策として、子育て支援センターを核とした相談支援事業の充実を図り、子育てに関する各種情報を提供し、子育て支援センターの開放により、年齢に応じて親子と子ども同士が触れ合う交流の場を提供し、育児不安の解消に努めたい。

昨年9月に結成された「幕別町せわすき・せわやき隊」通称すきやき隊の協力により、近隣に住む子育て家庭に対する日常的な目配りと声かけを推進するなど、地域社会資源の活用を図り、家族やコミュニティのつな

がりが維持できるよう、地域全体における支援活動の浸透を図りたい。子育て支援にかかわる各専門分野の取り組みについて、全体の調整と連携を図ることを目的とし、各担当職員で構成する「幕別町乳幼児ネットワーク会議」を平成17年6月に設置し、育児に対する環境づくりや各種支援策について、総合的な連絡調整と情報交換に努めている。

子どもを持ったら暮らせないとといった不安を少しでも解消できるよう、子育て支援対策に今後とも精力的に取り組む。

向性について、考え方を伺う。

**町長**

町職員として採用時にサービスの根本基準や責務などを自覚した上で、サービスに関する宣誓をし、公務員としての一定の倫理観あるいは法令遵守の意識を持つて、日々職務に精励している。

その意識が時とともに風化するのではないよう、日ごろから職員に対して、年頭における訓示や必要に応じて文書等によって、綱紀の保持に努めている。

サービスの基本的な理念等は、法令に基づいており、改正の予定はない。

懲罰の在り方に関しては、個別の事案ごとに適性かつ厳正な処分をする。

最近、特に社会問題化している悪質な交通違反等に関するしては、先般、従前の処分基準を見直し、より明確な処分基準を定めた。

町民の皆さんの信頼を損ねることのないよう、今後とも綱紀の保持に努めたい。

## 庁舎内（町職員）

### コンプライアンス

**問**

コンプライアンスとは、企業や個人がそれぞれの活動の中で法律・法令や規則を守っていくこと、またその中には社会的規範やさらには倫理・道徳も包含すると解されている。

いわゆる法令順守については、企業のみならず今や法の分身である公務員に対

し高度に求められるようになった。特に今夏の福岡市職員が起こした事故による「危険運転致死傷罪」の適用の可否には国民全体が大きく注目しているが、わが町の職員の間では法令順守の意識が根付いていると言えるか。服務規定等の内容改正及び懲罰のあり方の方